

警察庁によると、子どもが自分の裸を撮影して、メールなどで送信する自画撮り被害が年々増加しています。2016年は、2012年の2.3倍にあたる480人が、自画撮りから事件に巻き込まれ、その9割以上が中高生でした。

自画撮り被害9割が中高生

LINEやツイッターなどの交流サイトで知り合った相手は、容姿をほめたり、小遣いの提供を持ちかけたりして言葉巧みに画像の送信を求めてきます。中には「裸の画像をばらまく」

と中1の少女を脅し乱暴したとして逮捕されたケースもありました。

安易に自分の画像を渡すとネットに流出する恐れがあり、一度ネットに拡散すると回収は不可能だということとを、子どもたちには知らせる必要があります。

ネットの利便性の裏側には大きな危険が潜んでいることを、家庭や学校でネットの特性をしっかりと教え被害を防ぎましょう。

防犯一口メモ